

質問 現在、市は嘱託・臨時職員を、それぞれ最長で何年間継続して雇用しているか。

市長 嘱託員は最大5年、臨時職員は1年以内となっている。

質問 臨時職員等で、優秀で努力している人を正規職員にする考えはないか。

また、その弊害となっている年齢制限を撤廃する考えはないか。

市長 臨時職員としての勤務の評価をもつて正規職員として採用する考えはない。年齢制限を撤廃する考えもない。

◇平成22年度予算編成について

◇公正で透明な入札・契約事務を

◇羽村市自治基本条例の制定を

もんま ひでこ
門間 淑子 議員
(市民ネットワーク
「いきいき広場」)



平成22年度予算編成について

質問 22年度予算規模はどの程度になるか。21年度実施計画策定期の見込みとの相違はないか。

市長 一般会計の歳出要求見積額は約202億円となっている。子ども手当が加わるとさらに大きな予算規模になるが、21年度実施計画策定期よりは、予算規模は膨らむと見込んでいる。

質問 市税収入はどの程度になるか。

市長 査定前の要求見積額で約101億8千万となっている。

質問 起債はどの程度を見込んでいるか。

市長 市債は適切な範囲で活用する予定である。財政指標に考慮して活用していく方針に変わりはない。

質問 事務事業の見直しは避けられないと考えるが、市長の見解は。

市長 市民生活に影響を与えないことを主眼に、緊急財政対策・緊急経済対策を行っていく。

公正で透明な入札・契約事務について

質問 20年度の工事請負契約では、平均落札率に開きがある。改善策は。

質問 小作西コースの行きにゆとりぎを加えてはどうか。

市長 平成22年10月のルート変更の際に、ゆとりぎ通りを通行するコースに変更する予定である。

地球温暖化対策について

質問 市の自然環境や観光地（チュー

市長 工種ごとの平均落札率の幅は、

受注側の事情と考えるが、今後も適正な予定価格の積算や制度改革に取り組み、公正・適正な入札事務を執行していく。

質問 指名競争入札に公募型の導入を検討してはどうか。

市長 公募型は談合の防止や、入札希望業者が自由に参加できるメリットがあるが、入札までの日数や事務量が増えることも指摘されており、今後、調査・研究していく。

羽村市自治基本条例の制定を

質問 第五次長期総合計画の策定が日程に上っているが、自治基本条例制定の準備を進めてはどうか。

市長 市民自らが地域へのかかわりを高め、住民自治と団体自治が協働して行く機運が醸成してくる時をとらえ、検討していきたい。



▲羽村市役所庁舎

リップ畑や郷土博物館周辺等）保全を目的とした市独自のエコツーリズム普及のための市民協働事業の立ち上げを。
市長 市の持つ魅力を伝える有効な事業であり、観光協会等と連携し、調査研究を進める。



▲登校中の1年生

羽村リトルシニア野球協会へ無償で貸している市有地の利用方法を再検討せよ
質問 羽村リトルシニアへはいつから市有地を貸しているのか。
市長 昭和58年3月31日からである。
質問 無償貸与している土地の面積は。
市長 7千714㎡である。

質問 在籍している子どもの人数を自治体別に。
市長 羽村市39名、青梅市18名、福生市10名、あきる野市10名、瑞穂町8名、武蔵村山市14名、その他8名。合計で107名である。
質問 予算・決算・規約・役員名簿の提出は毎年されているのか。
市長 提出は受けていない。
質問 リトルシニア以外に無償で市有地を貸している団体は。
市長 町内会、商工会、私立保育園、警視庁等20力所ある。
質問 リトルシニアとの「土地使用貸借契約書」の第12条1項の契約解除に従い土地の返還を求め、他の団体にも利用できるように、市有地の利用方法を検討すべきではないか。
市長 返還を求める考えはない。
質問 リトルシニアへの無償貸与はこの団体が特別に利益を得るものであり、

いちかわ えいこ
市川 英子 議員
 (日本共産党)



◇無償貸与の市有地利用の再検討を
 ◇小一プロブレムへの対応を

つゆき りょういち
露木 諒一 議員
 (公明党)



◇緊急経済対策について
 ◇市街化調整区域について
 ◇福生病院の人工透析再開について

緊急経済対策について
質問 羽村市は、平成22年度は7億5千万円の財源不足が生じると推測している。法人税も大きく減少している。今後の経済対策は。
市長 現在実施している企業支援策を継続・充実しつつ、企業ニーズに沿った支援事業を、積極的に実施していく。
質問 従業員を解雇せず、一時休業などを行う企業に手当を補てんする「雇用調整助成金」の状況について何う。
市長 10月末現在20社で、563人の従業員の方々が助成を受けている。
質問 第2弾の羽村にぎわい商品券はいつ頃発行するのか。
市長 本年度内に発行事業を実施する。
武蔵野等地区市街化調整区域について
質問 地区内には3カ所の小規模敷地分譲ゾーンがあり、良好な市街化への誘引も困難になることが懸念されるが。
市長 小規模敷地の統合等により道路

整備を行う「ミニ区画整理」の導入について検討していく。
質問 武蔵野小学校と羽村第三中学校の間にある歩行者専用道路を隣接型小中一貫構想に伴い、近隣の方々の理解を得て、第三中学校を迂回する道路に変更できないか。



▲公立福生病院

昭和61年、23年前に「行政の文化化」について質問した。今も必要な考え方であり、生かしていかなければならないと考える。

質問 「行政の文化化推進大綱」についての考え方は。

市長 職員自らが自己革新して初めて、市民の心を豊かにする施策が生まれる。現在でも通じるものであるが、方法論については大きく変化し、行政主体から「市民や地域が主体となるよう連携していく」という方向である。

質問 新規採用された職員に配布していたと聞いているが、現在は。

市長 大綱に沿った施策は実施していないので、配布していない。

質問 これまで取り組んできた事業とその成果は。

市長 ハード面では、美観に配慮したアメニティトイレ、シンボル性や空間の調和に配慮した公共施設、デザイン性のあるガードパイプや歩道上のモチーフ、ソフト面では、パンフレット等のデザイン、広報紙、お役所言葉の

撤廃など、私が率先して提唱している市民の目線に立つことや、行政はサービス業であるという感覚が職員に備わってきたと思う。

質問 「トイレからのまちづくり」や花と緑の事業団などの実績があるが、今後のまちづくりの考えは。

市長 今年度から検討を始めている第五次の基本構想で明確にしていけるが、先人の知恵の結晶である過去のまちづくりを検証し、それらを基礎に将来の望ましい市の姿を思い描くことが必要であると考え。「自立と連携」の上に「人の心を大切にするまちづくり」「自立した自治体運営と広域的連携によるまちづくり」を推進していく。



▲水木公園のアメニティトイレ

かわさき あきお
川崎 明夫 議員
(新政会市民クラブ)



◇行政の文化化について

公正・平等と全市民を対象とすることを旨とする地方自治体のあり方と反する。市の考えは。

市長 青少年の健全育成等、総合的に判断し、現在の土地を無償で使用許可している。

小一プロブレムへの具体的な対応を

質問 新1年生全クラスに補助教員を。
教育長 学習サポーターや特別支援教育支援員、また、計画している小中一貫教育における副担任等の対応を図ることで、新1年生の全クラスに支援員等を配置することができると考えている。

市長 羽村市小中一貫教育基本計画では、連絡橋の整備や将来的な敷地の一体活用について検討する。

公立福生病院の人工透析再開について
質問 公立福生病院は昨年10月第1期が開院し、人工透析21床が配置されている。一日も早く、人工透析を再開す

べきと考えるがどうか。

市長 人工透析治療の再開は地域住民の願いであると考えている。医師の確保に向け最大限の努力をしていただろう、引き続き要請を行っていく。